

インターネットでの情報提供	
提供予定日	平成24年11月28日

平成24年11月27日(火) 県政記者クラブ 配布資料		
所管課・学校	担当	電話番号
岐阜本巣特別支援学校	教頭 西村 三紀郎	058-239-9712
岐阜城北高等学校	教頭 井関 佳代	058-237-5331
教育委員会学校支援課	総合支援係 鈴木 彰	直通058-272-8749(内3549)
教育委員会特別支援教育課	自立支援係 下野 誠司	直通058-272-8751(内3556)

～魅力ある作業製品作り～

岐阜本巣特別支援学校・岐阜城北高等学校がコラボ商品を販売！



岐阜県立岐阜本巣特別支援学校と岐阜県立岐阜城北高等学校は、お互い得意とする分野を生かしてコラボレーション商品を開発しました。

コラボレーション商品①「マルチポーチ」、②「ブックカバー」、③「コースター」は、岐阜本巣特別支援学校において、岐阜城北高等学校生徒にアドバイスを受け製作し、④「トートバッグ」は、岐阜城北高等学校において、岐阜本巣特別支援学校生徒が織った生地で作りました。

両校のコラボレーション商品には、両校の校名をアレンジしたオリジナルブランドのタグを付け、学校祭などでそれぞれ販売しますのでお知らせします。

記

1 コラボ商品の概要

商品名・商品写真	価格(円)	コメント/サイズ
①マルチポーチ 	600	岐阜本巣特別支援学校で以前より製作していましたが、よりよい商品を製作したいとの希望が強くなり、岐阜城北高等学校のアドバイスを受け、製作過程の工夫や裏地をつけるなど改良を重ねました。 <サイズ> 約20cm
②ブックカバー 	300	岐阜城北高等学校のデザインを基に、岐阜本巣特別支援学校が何度も試作・改良を重ね、製作しました。 <サイズ> 文庫本の大きさ

<p>③コースター</p> 	<p>100</p>	<p>岐阜城北高等学校のアイデアをもとに、岐阜本巣特別支援学校が、何度も試作・改良を重ね、製作しました。</p> <p><サイズ> 約10cm四方</p>
<p>④トートバッグ</p> 	<p>大 1,000</p> <p>小 800</p>	<p>岐阜本巣特別支援学校が製作した織物（自由な感性で色系を重ねて織ったもの）をアクセントに、岐阜城北高等学校がデザインして製作しました。</p> <p>昨年度に試作品を作り、岐阜本巣特別支援学校での販売や展示の機会を利用してリサーチを行い、評判が良かったデザインを中心に製作しました。</p> <p><サイズ> 大：約30cm、小：約24cm</p>

2 コラボ商品の販売

①マルチポーチ、②ブックカバー、③コースター 岐阜本巣特別支援学校（岐阜市西秋沢 2-363-1）

■学校祭／12月1日（土）11:00～12:00（同校東体育館）

■校内カフェ「café 和ーなごみー」※月1回営業／

12月13日（木）、1月17日（木）、2月7日（木）9:45～11:45（セミナーハウス）

④トートバッグ 岐阜城北高等学校（岐阜市三田洞 465-1）

■地域交流イベント「岐阜城北わいわい広場」／11月30日（金）10:00～14:00（同校）

<製作・問い合わせ先>

・岐阜本巣特別支援学校 058-239-9712 高等部手工芸班 教諭 早坂英主

・岐阜城北高等学校 058-237-5331 生活文化科 教諭 野口雅子・今井明世

3 コラボ商品の展示

場所	柳ヶ瀬あい愛ステーション	「SAIRI」
住所	岐阜市柳ヶ瀬通2-17	岐阜市羽根町8番地高見ビル1階
期間・時間	平成25年1月11日（金）～18日（金） 11:00～19:00	平成25年3月14日（木）～19日（火） 11:00～19:00
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・両校の学校紹介 ・作品展示 ・市場調査用アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・両校の学校紹介 ・作品展示 ・市場調査用アンケート
イベント	期間中の1月18日（金）に両校生徒代表によるラジオ出演を予定しています。	

4 コラボを行った経緯等

岐阜本巣特別支援学校高等部では作業学習を実施しており、手工芸班の作業製品を今まで以上に一般の方に販売することで、生徒の社会参加や就労に対する意欲を高めたいと考えました。

作業製品にデザイン性を与え、ブランド化を図り、生徒にやりがいをもたせると共にブランドの認知度を高めることを目指し、昨年度より専門的な知識と技能を保持している岐阜城北高等学校生活文化科と交流（コラボレーション）を始めました。

単に岐阜本巣特別支援学校作業製品の製作に関してアドバイスを受けるだけではなく、同校の織物を岐阜城北高等学校が製作する製品に使用することで、双方共にメリットが生まれています。

【オリジナルタグについて】

岐阜城北高等学校生活文化科の生徒がアイデアを出し、両校で検討し作成しました。「岐阜」という両校の同じ頭文字を「G」と表現し、城北の「J」、本巣の「M」をアレンジし、両校が協力して製作しているという意味も込めて、オリジナルタグにしました。

